

4 ガイドを行うときの注意事項

[コースを設定するときの注意事項]

- ・企業や個人の私有地内にある施設を見学するときは、所有者の許可を得ること。
- ・特に炭鉱遺産は、自然崩壊などの可能性がある建物もあり、また、熊などの野生動物が出没する恐れがあるので、危険な場所にみだりに立ち入らないよう注意する。
- ・炭鉱遺産は、自然の中にあることが多いので、夏季は虫さされ防止のための長袖を着用するなど、季節や天候に応じた服装・装備をするようあらかじめ伝えておく。
- ・立ち入り禁止区域となっている場所をコースに選定しない。

[スタートする前に]

- ・ガイド及び補助スタッフを紹介
- ・趣旨及びコースの概要を説明
- ・他の歩行者や車両への配慮など、参加者に交通安全の協力をお願いする。
- ・住宅街などで写真を撮るときは、住民の許可を得てから撮影するよう呼びかける。
- ・ごみは放置せず、各自持ち帰るよう呼びかける。

[ガイドをするとき]

- ・ガイド一人につき、参加者は20人くらいが目安です。
→大勢になると歩く列が長くなるため、後方の人がガイドの説明を聞きとりづらくなるため。
- ・専門用語は使わず、できるだけわかりやすい表現を用いて説明する。
- ・専門用語を使わなければならないときは、必ずそれについて解説を入れる。
- ・音が割れないなど、性能の良いマイク（拡声器）を使う。
- ・説明ポイントに来たら、人が集まるまで待つこと。
- ・車両がそばを通過するときはガイドの音が聞きづらいので、車両が通過するまで待つこと。
- ・補助スタッフの人は、説明ポイントに近づいてきたら、その旨を列の後方の人に伝え、説明を聞きたい参加者が聞き漏らしのないようにする。
- ・参加者の様子を見て、歩く速度を調整する。

[地域との連携・協力のお願い]

- ・コース近隣の商店などに協力をお願いし、フットパスなどのイベントで地域が盛り上がるような仕組みづくりが大切。
→協力店に、参加者が立ち寄り、買い物や食事などをするような仕組みづくりなど。
- ・食事を提供する店の一覧などを用意。